令和６年度

新座市学校応援団の実践

新座市教育委員会

令和７年３月

新座市教育委員会教育長あいさつ

新座市教育委員会教育長
金　子　廣　志

学校応援コーディネーターと、各中学校区で選出された地域コーディネーターを中心とした学校応援団を、平成２０年１０月の「新座市学校応援団推進事業実施要項」を基に、市内すべての小・中学校に組織してから１６年目となりました。近年、いじめや不登校等、学校が抱える課題が多種多様化し、子供を取り巻く環境が急激に変化している中で、学校・家庭・地域が一体となって子供たちを育成していくことがより重要となっております。埼玉県第４期教育振興基本計画では、目標の１つに「家庭・地域の教育力の向上」を掲げ、施策として、「地域と協働連携・協働した教育の推進」を設定しています。具体的には、地域の住民の参画を得て取り組む「学校応援団」や放課後子供教室の活動を推進し、これらの活動を基盤に、学校と保護者や地域、企業や団体などの関係を、連携・協働という双方向の関係に発展させ、地域全体で子供の学びや育ちを支えることを求めています。

このような中にあって、本年度は、１月に地域学校協働活動講演会を開催し、学校応援コーディネーターの皆様と学校運営協議会委員の方々の参加を得て、文部科学省 CS マイスター朝倉　美由紀様にお越しいただき「セカンドステージに向けて」と題して御講演をいただきました。本講演会は、社会に開かれた教育課程を考え、よりよい学校教育を通してより良い社会を創るという理念について理解する場となり、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動のさらなる推進が期待されるところです。

各学校におかれましては、今後の学校応援団事業の推進のため、本実践集を十分活用していただければ幸いです。最後になりましたが、各学校の教育活動にお力添えいただきました学校応援団の皆様に心より感謝申し上げるとともに、引き続き御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

も　く　じ

新座市教育委員会教育長あいさつ　・・・　1

もくじ　・・・　2

新座市学校応援団推進事業の概要

成果と課題　・・・　4

推進事業組織図　・・・　6

学校応援団実行委員会開催要項　・・・　7

学校支援地域本部開催要項　・・・　8

学校応援団事業実施要項　・・・　9

学校応援団活動保険概要　・・・１０

学校別登録団体と活動人数　・・・１２

学校応援団活動回数　・・・１８

文部科学省資料「学校を核とした地域力強化プラン」　・・・１９

文部科学省資料「地域と学校の連携・協働体制構築事業」　・・・２０

各学校応援団の実践

大和田小学校　・・・２２	池田小学校　・・・３０	新座小学校　・・・３８
西堀小学校　・・・２３	新堀小学校　・・・３１	新座中学校　・・・３９
片山小学校　・・・２４	東野小学校　・・・３２	第二中学校　・・・４０
第四小学校　・・・２５	栄小学校　・・・３３	第三中学校　・・・４１
八石小学校　・・・２６	石神小学校　・・・３４	第四中学校　・・・４２
東北小学校　・・・２７	新開小学校　・・・３５	第五中学校　・・・４３
野火止小学校　・・・２８	栗原小学校　・・・３６	第六中学校　・・・４４
野寺小学校　・・・２９	陣屋小学校　・・・３７	

新座市学校応援団
推進事業の概要

令和６年度新座市学校応援団　成果と課題

学校応援団推進事業の目的
○ 教員が子どもと向き合う時間を増やす
○ 地域住民の学習成果の活用機会の拡充を図る
○ 家庭・地域の教育力の活性化を図る

令和５年度　２１８団体　１２，３７２人（登録人数）令和　５年　３月現在
令和６年度　２２６団体　　８，４７２人（登録人数）令和　６年　３月現在

１　令和６年度の成果

(1) 学校応援団の組織
・学校応援団の活動を通じて、児童生徒・教員・保護者・地域の方々との交流を図ることができた。
・学校情報通信アプリや Forms を活用し、募集から実施に至るまでの進め方や調整の仕方を整えることができた。

(2) 安全面、学習のサポート
・学校内の環境整備、登下校時の安全サポート、学習支援により、安心安全な教育活動への手助けとなっている。
・様々な体験活動が、児童の情操教育に大いに寄与している。
・多くの保護者・地域の方に教育環境の整備のために活動していただいたことで、児童生徒が感謝の気持ちを抱き、学校・家庭・地域のつながりをさらに強めることができた。

(3) 広報活動の推進
・学校応援団の活動状況を市ホームページで紹介した。
・各小中学校のホームページに学校応援団に関するページを作成した。

(4) その他
・多くの学校で「読み聞かせ活動」が実施され、児童生徒が読書に対する興味関心を高めたり、多くの方から見守られていることを実感したりする貴重な機会となった。

２　令和６年度の課題

(1) 学校応援団の組織
・学校運営協議会と学校応援団の一体的な取組を企画・実施すること。

(2) 応援ボランティアの募集
・協力者が固定化、高齢化している応援団もあるため、後継者の育成や幅広い募集のあり方を考えていく必要があること。

(3)その他

・PTA 活動の縮小により、学校応援団の需要がさらに高まってきている。これまで PTA 活動が担ってきた学校支援について見直しを図るとともに、学校応援団との連携をより強める必要がある。

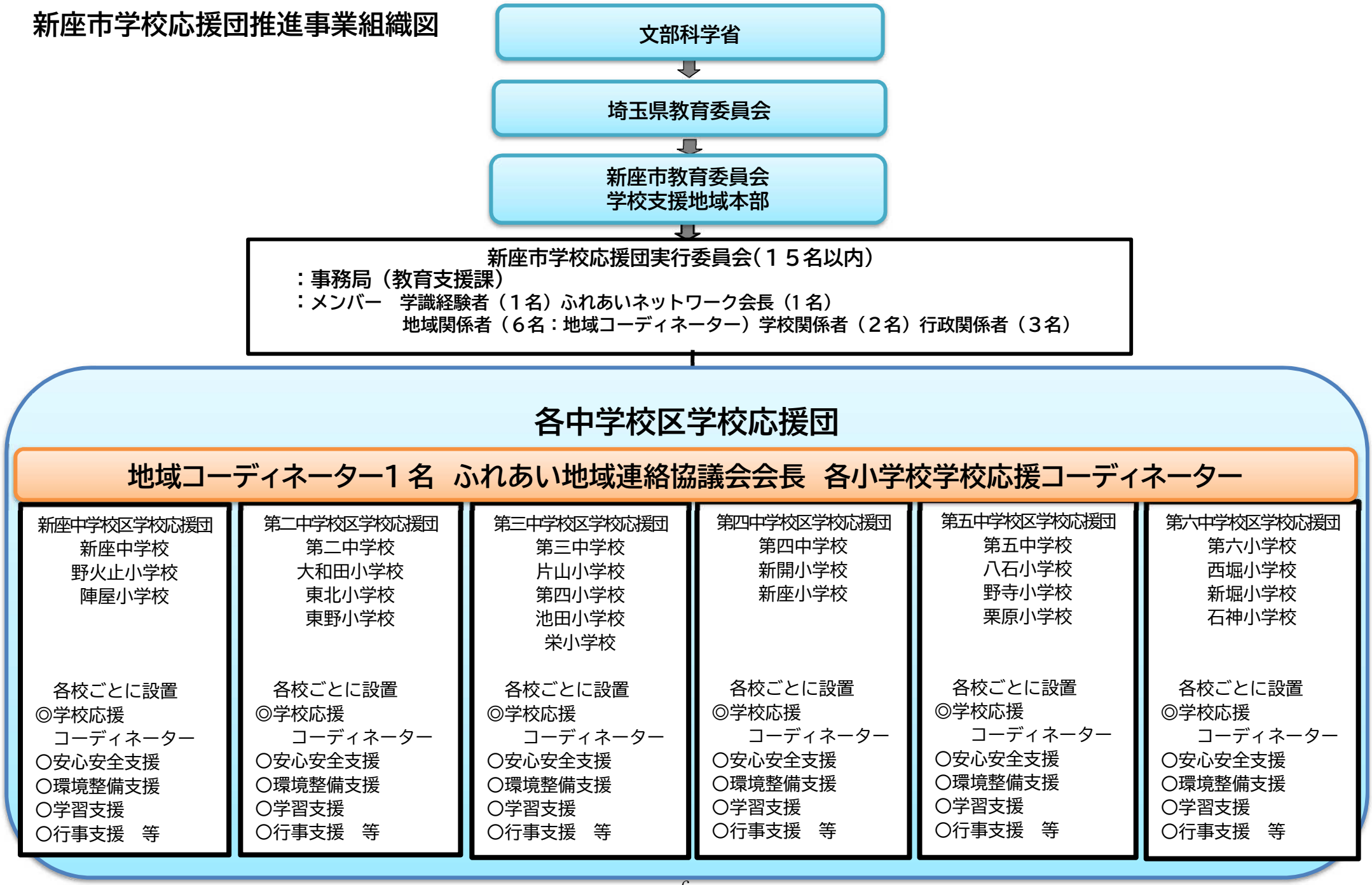
3　来年度へ向けて

重点課題

1　学校応援団の組織の充実（学校運営協議会との一体的な推進）
2　世代交代による後継者の育成や地域人材の発掘
3　学校応援コーディネーターの役割の明確化

◆　学校運営協議会との連携
・自校の課題に即した取組の実施（一体的推進）
◆　各学校での学校応援団運営会議の定期的な開催（オンラインの活用）
・学校応援団同士の連携、学校との連携、ボランティアの募集
◆　学校応援コーディネーター研修会（地域学校協働活動研修会）の充実
・講演会、実践発表会、情報交換会、情報提供
◆　学校応援団の活動の広報と効果的なボランティアの募集、参加人数の確保
・幅広い層への募集方法の構築
◆　学習支援活動の充実
・年間計画への位置付けによる教職員との連携、学習支援
◆　学校応援団のウェルビーイングを向上させる取組の推進
・学校応援団間のコミュニケ―ションの機会づくり
・児童・生徒が、学校応援団への感謝を伝える機会づくり

新座市学校応援団推進事業組織図



新座市学校応援団実行委員会開催要綱

（趣旨）

第１条　本市における学校応援団推進事業（以下「事業」という。）の普及啓発、事業の成果の報告等を実施し、事業の効果的な展開を図るため新座市学校応援団実行委員会（以下「実行委員会」という。）を開催することに関し必要な事項を定めるものとする。

（意見を求める事項）

第２条　実行委員会において意見又は助言を求める事項は、次のとおりとする。

(1) 各校における事業の支援に関すること及び、学校応援団間の情報交換に関すること。

(2) 事業の普及啓発等に関すること。

(3) 前２号に掲げるもののほか、事業に関し必要な事項

（参加者）

第３条　教育長は、別表に揚げる者のうちから、必要と認める者に対して実行委員会への参加を求めるものとする。

２　前項の場合において、教育長は、原則として、同一の者に継続して実行委員会への参加を求めるものとする。

（運営）

第４条　実行委員会の参加者は、その互選により実行委員会を進行するための委員長を定めるものとする。

２　委員長は、副委員長を委員の中から選任する。

３　教育長は、必要があると認めるときは、実行委員会に関係者の出席を求め、その意見若しくは説明を聴き、又は資料の提出を求めることができる。

（庶務）

第５条　実行委員会の庶務は、学校教育部教育支援課長において処理する。

（施行の細目）

第６条　この要綱に定めるもののほか、実行委員会に関し必要な事項は、教育長が定める。

附　則

この要綱は、平成２０年１０月１日から実施する。

附　則

この要綱は、平成２１年６月１日から実施する。

附　則

この要綱は、平成２６年４月１日から実施する。

附　則

この要綱は、平成３０年１月１日から実施する。

別表（第３条関係）

１	学識経験者	学識経験者
２	新座市ふれあいネットワーク会長	地域関係者
３	地域コーディネーター　（新座中学校区）	地域関係者
４	地域コーディネーター　（第二中学校区）	地域関係者
５	地域コーディネーター　（第三中学校区）	地域関係者
６	地域コーディネーター　（第四中学校区）	地域関係者
７	地域コーディネーター　（第五中学校区）	地域関係者
８	地域コーディネーター　（第六中学校区）	地域関係者
９	新座市小学校長会　会長	学校関係者
１０	新座市中学校長会　会長	学校関係者
１１	学校教育部長	行政関係者
１２	学校教育部副部長	行政関係者
１３	中央公民館長	行政関係者

新座市学校支援地域本部開催要綱

（趣旨）

第１条　本市における学校応援団推進事業の推進に当たり、意見又は助言を求めるため、新座市学校支援地域本部（以下「地域本部」という。）を開催することに関し必要な事項を定めるものとする。

（意見を求める事項）

第２条　地域本部において意見又は助言を求める事項は、次のとおりとする。

(1) 事業の企画、運営に関すること。

(2) 各校における事業の支援に関すること。

(3) 事業の普及啓発に関すること。

(4) 前３号に掲げるもののほか、事業に関し必要な事項

（委員）

第３条　地域本部の委員は、別表に掲げる職をもって当てる。

（運営）

第４条　会議を進行するための本部長には教育長が当たり、副本部長は学校教育部長が当たる。

２　地域本部の会議は、教育長が必要があると認めるときは、地域本部の関係者に出席を求め、その意見若しくは説明を聴き、又は資料の提出を求めることができる。

（庶務）

第５条　地域本部の庶務は、学校教育部教育支援課において処理する。

（施行の細目）

第６条　この要綱に定めるもののほか、地域本部に関し必要な事項は、教育長が別に定める。

附　則

この要綱は、平成２０年１０月１日から実施する。

附　則

この要綱は、平成２１年４月１日から実施する。

附　則

この要綱は、平成２６年４月１日から実施する。

附　則

この要綱は、平成３０年１月１日から実施する。

別表（第３条関係）

1	教育長
2	教育総務部長
3	教育総務部生涯学習スポーツ課長
4	学校教育部長
5	学校教育部副部長
6	学校教育部教育支援課長
7	学校教育部教育相談センター室長

新座市学校応援団推進事業実施要項

新　座　市　教　育　委　員　会
平成２０年１０月２２日教育長決裁

１　趣　旨

家庭を含む地域全体で学校教育を支援する体制づくりを推進することにより、教員の子どもと向き合う時間の増加、住民等の学習成果の活用機会の拡充及び家庭・地域の教育力の活性化を図る。具体的には、「学習への支援」「安心・安全への支援」「環境整備への支援」等の活動にあたるものである。

２　実施体制

(1) 学校支援地域本部について

教育長は、必要に応じて新座市学校支援地域本部(以下「地域本部」という。)を開催する。地域本部は、教育長を本部長とする行政関係者を委員とし、事業の企画、運営、各小・中学校に設置される学校応援団における事業の支援、事業の普及啓発等について意見又は助言を行う。

(2) 新座市学校応援団実行委員会について

新座市学校応援団実行委員会（以下「実行委員会」という。）は、学識経験者、地域関係者、学校関係者、行政関係者を委員とする。実行委員会は必要に応じて開催し、学校応援団間の情報交換、及び事業の普及啓発等について意見又は助言を行う。

(3) 各小・中学校学校応援団について

「学校応援団」は、各小・中学校における教育活動に協力し支援するために家庭・地域のボランティアで構成する。

各学校には、学校と学校応援団の調整役である学校応援コーディネーターは、家庭・地域ボランティアの代表から一人又は複数名を選出する。

(4) 中学校区学校応援団について

中学校区学校応援団とは、中学校区の学校応援コーディネーターとふれあい地域連絡協議会代表により構成する。

中学校区に、各小・中学校学校応援団の連携を図り、調整役となる地域コーディネーターを１名配置する。地域コーディネーターは、各学校の学校応援コーディネーターとふれあい地域連絡協議会の代表の中から選出する。

地域コーディネーターは実行委員会に参加し、各学校応援団の要望等を報告するものとする。

附　則

この要項は、平成２０年１０月２３日から実施する。

附　則

この要項は、平成２４年６月１日から実施する。

附　則

この要項は、平成２６年４月１日から実施する。

令和６年度新座市学校応援団活動保険概要

１　名　　称

新座市学校応援団傷害保険及び賠償責任保険

２　目　　的

(1) 学校応援団活動（学校行事や事業等）に関わる方がさまざまな急激かつ偶然な外来の事故によって障害（ケガといいます）を被り、医師の診断を受けた場合等に以下【傷害保険】５(1)(2)(3)の内容のとおり、保険金を支給するものとする。

(2) 学校応援団活動（学校行事や事業等）に関わる方が偶然な事由による事故によって第３者にケガを負わせてしまったり物品を破損してしまったりした場合等に以下【賠償責任保険】の内容のとおり、保険金を支給するものとする。

３　条　　件

(1) **学校管理下**であること。

(2) 学校主体となって組織した団体若しくは個人であること。

４　対　　象

以下の【保険対象】のとおりです。

５　補償内容

【傷害保険】

(1) 死亡・後遺傷害保険金　４５０万円

（事故後 180 日以内に死亡又は後遺症が発生した場合）

(2) 入院保険金　　日額　３，０００円（給付・期間日数１８０日限度）

(3) 通院保険金　　日額　２，０００円（給付・期間日数９０日限度）

【賠償責任保険】

施設　共通限度額	１事故	５，０００万円（免責なし）
受託物	１事故	１，０００万円（免責なし）
生産物	１事故	５，０００万円（免責なし）

６　事務手続き

(1) １か月の活動参加者を学校毎にある「学校応援団活動参加者報告書」（Ｙフォルダ内→教育支援課→●学校応援団→★令和５年度学校応援団活動詳細表にデータ格納）にて活動内訳を集計し、翌月の１０日までに同データ上で、月ごとにタブを分けて報告書を作成し格納する（紙の提出は不要。）。

(2) ８月分も含めて、活動参加者がない場合も必ず作成する。

７　事故処理

(1) 事故が発生しましたら、速やかに「事故報告書」（Ｙフォルダ内→教育支援課→●学校応援団→様式）を作成の上、教育支援課まで電子メールを送信

してください。記入内容は以下のとおりお願いします。

① 負傷者の氏名・住所・電話番号
② 事故の日時・場所・状況
③ 怪我の箇所
④ 病院名・電話番号
⑤ 管轄の学校名・連絡先等

【保険対象】

No.	活動分類	主な活動内容
1	読み聞かせボランティア	読み聞かせ、読書指導、音読など
2	校舎内外パトロール	校舎内外のパトロールなど
3	クラブ活動支援ボランティア	クラブ（運動系、文科系）指導
4	授業支援ボランティア	授業においてのお話や、作品づくり（戦争体験、地域の様子、農家の話、職場、就職など）水泳指導、草花観察、音楽鑑賞、授業において補助（ミシン）、国語（発声の仕方）、特別活動（薬物乱用）、理科（野鳥観察）など
5	学習支援ボランティア	ピアサポーター、学習プリント採点など
6	環境美化ボランティア	花壇づくり、除草作業、ペンキ塗装など
7	給食、清掃指導及び補助ボランティア	給食指導、生活指導補佐員など
8	福祉活動ボランティア	福祉活動
9	清掃活動（校地内外）ボランティア	校庭清掃、校舎清掃、ペンキ塗装、通学路清掃など
10	学校図書館ボランティア	学校図書館業務
11	体験学習ボランティア	農業体験、福祉教育体験など
12	学校行事支援ボランティア	儀式招待、行事招待など
13	農業支援員	農業支援員
14	学校運営協議会委員	学校運営協議会委員

新座市学校応援団学校別登録団体と活動人数（学校順）

※有償ボランティアは除く

新座市教育委員会
令和７年３月現在

学校番号	学校名	活動内容	人数
1	大和田小学校	学校安全ボランティア	1
		学生ボランティア	8
		家庭科学習支援	9
		学校の花壇等花の管理	60
		読み聞かせ	25
		合計人数	103
2	西堀小学校	お琴クラブ支援	1
		西堀見守り隊	35
		こすずめ隊	3
		図書ボランティア活動（さくらんぼ）	10
		家庭科学習支援隊	4
		木の子クラブ	4
		花植ボランティア	2
		めんどり隊	9
		読み聞かせボランティア	20
		合計人数	88
3	片山小学校	登下校の安全パトロール	46
		学校行事応援隊	170
		地域関連事業サポーター	37
		図書点検サポーター	73
		学習プリント印刷ボランティア	42
		家庭科授業支援	20
		クリーンサポーター	34
		学校美化サポーター	1
		校地周辺清掃サポーター	2
		片山小学校周辺通学路清掃	1
		11 読み聞かせボランティア	45
		ベルマーク集計ボランティア	120
		合計人数	591

4	第四小学校	安全ボランティア	56
		登下校の安全指導（馬場町内会）	20
		登下校の安全指導（畑中町内会）	20
		学習ボランティア	30
		図書ボランティア	6
		環境・ベルマークボランティア	30
		「チロルの森」（ミニギャラリー）・行事支援	60
		おはなしリーフ	45
		合計人数	267
5	八石小学校	茶道クラブ指導	40
		保護者による安全パトロール	30
		野寺町会有志によるパトロール	5
		地域の有志による登下校時の交通安全指導	50
		運動会会場整理等	50
		図書室支援ボランティア	233
		除草活動	180
		校内美化活動	25
		保谷アンサンブルによる音楽演奏会	50
		読み聞かせボランティア	30
		合計人数	693
6	東北小学校	北野三丁目防犯パトロール隊	60
		校内安全パトロール	390
		アルミ缶回収	50
		校内音楽会に係る保護者の誘導	10
		ぴかぴか隊	14
		体験学習ボランティア	60
		おはなしよむよむ(子どもと本を考える会)	15
		合計人数	599
7	野火止小学校	和クラブ	2
		防犯パトロール	84
		朝のあいさつ運動サポーター	16
		見守り隊	45
		学校行事支援ボランティア（運動会・持久走大会・全遠足）	71
		図書ボランティア	23
		グリーンサポーター	38
		学習支援ボランティア	36
		花いっぱいボランティア	12
		ピカピカサポーター	35
		おやじの会	36
		読み聞かせボランティア	38
		合計人数	436
8	野寺小学校	クラブ応援団	20
		登下校の安全パトロール	30
		行事応援団	500
		学校図書館応援図書スタッフ	15
		学習指導の支援・活動への補助	130
		校舎内外の環境美化活動	80
		1年生　補助	30
		読み聞かせ	54
		合計人数	859

9	池田小学校	地域防犯パトロールとパトロール隊との交流と日々の安全見守り	53
		学校行事サポート	100
		学生ボランティア活動	10
		民間企業による出前授業	25
		学習支援活動	40
		学校美化活動	40
		ベルマーク活動	40
		学校環境整備活動	150
		学校行事サポート	100
		合計人数	558
10	新堀小学校	シルバー見守りボランティア	20
		防犯パトロール	5
		新堀一丁目見守り活動	62
		わんわんパトロールと新堀二丁目見守り隊	8
		新堀三丁目パトロール隊	20
		国際交流学習の補助	350
		学習支援（家庭科・生活科・社会科）	13
		楽農会	30
		華や花会	60
		エレガンスの会	25
		草取りサポート・クリーングリーンサポーター	8
		合計人数	601
11	東野小学校	登下校時の安全パトロール	30
		図書ボランティア	15
		東野ガーデナー	15
		校舎内外清掃ボランティア	15
		ぱたぽん	30
		父親の会	8
		合計人数	113

12	栄小学校	登下校の安全パトロール	30
		校内外安全パトロール	201
		家庭科裁縫実習補助	20
		学習ボランティア	8
		花壇の整備	4
		親子除草	109
		お茶会	2
		おやじの会	8
		朝読書における読み聞かせ	25
		合計人数	407
13	石神小学校	スクールガード（防犯・交通安全）	10
		おやじの会	10
		てしごとこんぺいとう（学校図書館）	5
		学習応援団	455
		どろんこの会（環境美化）	20
		おはなしこんぺいとう（読み聞かせ）	17
		合計人数	517
14	新開小学校	児童の安全見守りボランティア	20
		交通安全ボランティア	3
		全校遠足見守りボランティア	70
		図書室蔵書点検ボランティア	6
		生活科　公園探険ボランティア	10
		生活科　ザリガニつりボランティア	10
		家庭科　ミシン学習ボランティア	20
		授業支援ボランティア	4
		七夕かざり製作・設置ボランティア	20
		節句かざり作成・設置ボランティア	4
		ガーデンプランナーズ	20
		１年生生活補佐ボランティア	20
		１０歳の集いボランティア	10
		読書　ボランティア	20
		合計人数	237
15	栗原小学校	見守り・あいさつ応援団	8
		広報応援団	2
		学校図書館応援団	15
		学習・行事応援団	4
		環境応援団	4
		お助けママさん	4
		読み聞かせ応援団	13
		合計人数	50

16	陣屋小学校	シルバーパトロール	5
		図書室掲示ボランティア	14
		学校応援団	60
		中原防犯パトロール	30
		クラブ活動支援ボランティア	3
		読み聞かせ（おはなしびっくり箱）	20
		学校運営協議会	7
		合計人数	139
17	新座小学校	学校支援	54
		家庭科支援	16
		図書室支援	19
		植栽	13
		学校施設清掃	13
		学校ギャラリー管理運営	10
		学習支援	18
		日本語支援	54
		給食ボランティア	22
		読み聞かせ	14
		学校農園支援	18
		合計人数	251
18	新座中学校	あいさつ運動	60
		学校行事協力	30
		学校の環境を考える会	60
		除草作業	200
		読み聞かせ	30
		合計人数	380
19	第二中学校	下校時の安全パトロール	275
		朝の声かけ運動	250
		学校行事来賓	44
		ピアサポーター	10
		福祉体験活動	10
		環境整備活動	40
		おはなしの雫	25
		合計人数	654

20	第三中学校	朝の声かけ	70
		学校行事支援活動	85
		グリーンボランティア	50
		読み聞かせ	25
		合計人数	230
21	第四中学校	あいさつ運動	100
		学校協力ボランティア	45
		ピアサポーター	2
		園芸ボランティア	88
		制服などのリユース品の回収・管理	15
		環境整備	3
		読み聞かせ	20
		合計人数	273
22	第五中学校	校外パトロール	45
		朝あいさつ活動	105
		体育祭パトロール	70
		五中フェスタ活動	70
		五中アフターチャレンジ指導者	8
		緑化活動ボランティア	118
		合計人数	416
23	第六中学校	声かけボランティア（堀ノ内町会）	10
		声かけボランティア（北原町会）	20
		声かけボランティア（石原町会）	20
		ピアサポーター	2
		園芸ボランティア	10
		合計人数	62

市内合計人数	8,524

新座市学校応援団活動回数(学校順)

令和7年3月時点

学校番号	学校名	クラブ活動支援	安全、防犯（校舎外）	安全、防犯（校舎内）	学校行事支援	学校図書館	授業・学習支援	環境美化	給食、清掃指導及び補助	清掃活動（校地内外）	体験学習	読み聞かせ	農業支援員	福祉活動	延べ回数合計
1	大和田小学校	0	4604	0	0	0	82	386	0	0	0	118	3	0	5193
2	西堀小学校	4	2350	0	9	95	0	1486	34	0	0	85	0	0	4063
3	片山小学校	0	7698	0	66	139	32	34	0	539	0	37	0	596	9141
4	第四小学校	0	434	0	80	42	0	0	0	17	75	120	0	0	768
5	八石小学校	51	5239	0	30	14	0	80	0	90	30	110	0	0	5644
6	東北小学校	0	66	715	55	0	15	154	0	0	27	306	0	0	1338
7	野火止小学校	20	4327	0	0	127	287	227	0	0	0	225	0	0	5213
8	野寺小学校	31	128	0	95	74	209	54	102	0	0	348	73	0	1114
9	池田小学校	0	3294	0	145	0	199	121	0	0	0	32	2	0	3793
10	新堀小学校	0	7690	0	5	60	52	476	149	0	200	218	0	0	8850
11	東野小学校	0	615	0	32	37	0	360	0	30	0	192	2	0	1268
12	栄小学校	0	220	203	0	0	912	54	0	100	37	210	0	0	1736
13	石神小学校	0	7000	0	9	123	0	102	0	0	0	142	0	0	7376
14	新開小学校	0	836	0	80	0	179	90	42	0	10	137	0	0	1374
15	栗原小学校	0	269	0	3	133	253	137	44	0	0	157	0	0	996
16	陣屋小学校	46	481	0	176	25	0	0	0	0	0	94	0	0	822
17	新座小学校	0	0	0	0	0	408	0	32	0	0	118	120	0	678
18	新座中学校	237	0	0	92	0	0	253	0	0	0	158	44	0	784
19	第二中学校	87	0	6	15	0	66	44	0	0	0	310	0	0	528
20	第三中学校	75	0	67	32	0	0	82	0	0	0	217	0	0	473
21	第四中学校	375	0	0	0	0	54	150	0	0	0	66	2	0	647
22	第五中学校	120	0	168	40	0	18	145	0	0	0	0	0	0	491
23	第六中学校	260	6150	0	0	0	44	128	0	0	0	0	0	0	6582

総合計延べ回数	68872

令和２年度「学校を核とした地域力強化プラン」の概算要求に係るブロック説明会資料
（令和元年９月）文部科学省総合教育政策局地域学習推進課

学校を核とした地域力強化プラン

◇一億総活躍社会の実現と地方創生の推進には、学校と地域が連携・協働し、学校を核として地域社会を活性化していくことが重要。

学校を核として地域の特色を生かした事業を展開することで、まち全体で地域の将来を担う子供たちを育成するとともに、地域の教育力を向上し、一億総活躍社会と地方創生の実現を図る。

地域力強化プラン

・地域の特色ある活動を柔軟に支援
・様々な活動を組み合わせて実施

【地域と学校の連携・協働体制構築事業】（６，７３７百万円）
各地方自治体において、地域と学校の連携・協働体制を構築するために、「コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）」と「地域学校協働活動」を一体的に推進するとともに、地域における学習支援や体験活動などの取組を支援する。

【地域における家庭教育支援基盤構築事業】（７５百万円）
地域人材の養成や家庭教育支援チームの組織化など家庭教育支援体制の構築、保護者への学習機会の提供や相談対応・情報提供に加え、児童虐待への対応を含む支援員等に対する研修の強化、保護者に寄り添うアウトリーチ型支援の実施など地域における家庭教育支援の取組を推進する。

【地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業】（３３８百万円）
「スクールガード・リーダー（防犯の専門知識がある者）」「スクールガード（学校安全ボランティア）」の活用等により、地域ぐるみで子供の安全を見守る体制を整備し、地域社会と連携した学校安全に関する取組を通じて、地域力の強化を図る。

【地域における学びを通じたステップアップ支援促進事業】（４７百万円）
就職やキャリアアップにおいて不利な立場にある高校中退者等を対象に、高等学校卒業程度の学力を身に付けさせるための学習相談及び学習支援を実施する地方公共団体の取組を支援する。

【健全育成のための体験活動推進事業】（９９百万円）
宿泊を伴う様々な体験活動を通じ、児童生徒の豊かな人間性や社会性を育むとともに、自己有用感を高め、自らの役割を意識させるなど一人一人のキャリア発達を促す。
また、地域人材や地域資源を活用することにより、異世代間交流や都市農村交流を図り、地域の活性化につなげる。

【地域を担う人材育成のためのキャリアプランニング推進事業】（８百万円）
「キャリアプランニングスーパーバイザー」を都道府県等に配置し、地元企業等と連携した職場体験やインターンシップ及び地元への愛着を深めるキャリア教育の推進等を通じ、地元に就職し地域を担う人材を育成する。

【地域と連携した学校保健推進事業】（８百万円）
養護教諭の未配置校等に対し、経験豊富な退職養護教諭をスクールヘルスリーダーとして派遣し、学校、家庭、地域の関係機関等の連携による効果的な学校保健活動の展開を図り、地域力の強化につなげる。

学校を核とした地域力強化・将来を担う子供たちの育成を通じて、一億総活躍社会、地方創生を実現

令和２年度「学校を核とした地域力強化プラン」の
概算要求に係るブロック説明会資料（令和元年９月）
文部科学省総合教育政策局地域学習推進課

地域と学校の連携・協働体制構築事業（旧 地域学校協働活動推進事業）

地域社会のつながりや支え合いの希薄化等による**地域の教育力の低下**や、学校が抱える課題の複雑化・困難化といった社会的課題の解決を目指すとともに、「社会に開かれた教育課程」の実現に向けた基盤として、**地域と学校が連携・協働**し、地域全体で未来を担う子供たちの成長を支えていくため、**「コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）」と「地域学校協働活動」の一体的な推進**が必要。

目標

2022年度までに全小中学校区において、幅広い地域住民や地域の多様な機関・団体等の参画を通じた地域学校協働活動の推進を図る。
その際、コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）との一体的な推進を図る。

事業内容

「社会に開かれた教育課程」の実現に向けた基盤となる体制を構築するために、**「コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）」**と**「地域学校協働活動」**を**一体的に推進**するとともに、地域における学習支援や体験活動などの取組を支援する。
「地域学校協働活動」を推進するため、地域と学校をつなぐ**「地域学校協働活動推進員」**を配置し、地域の実情に合わせた様々な地域学校協働活動の総合化、ネットワーク化を目指し、組織的で安定的に継続できる**「地域学校協働本部」**の整備を推進するほか、コミュニティ・スクールの導入に向けた取組を支援する。
これらの活動を通じ、各地方自治体における地域と学校との連携・協働を進め、**社会全体の教育力の向上**及び**地域の活性化**を図る。

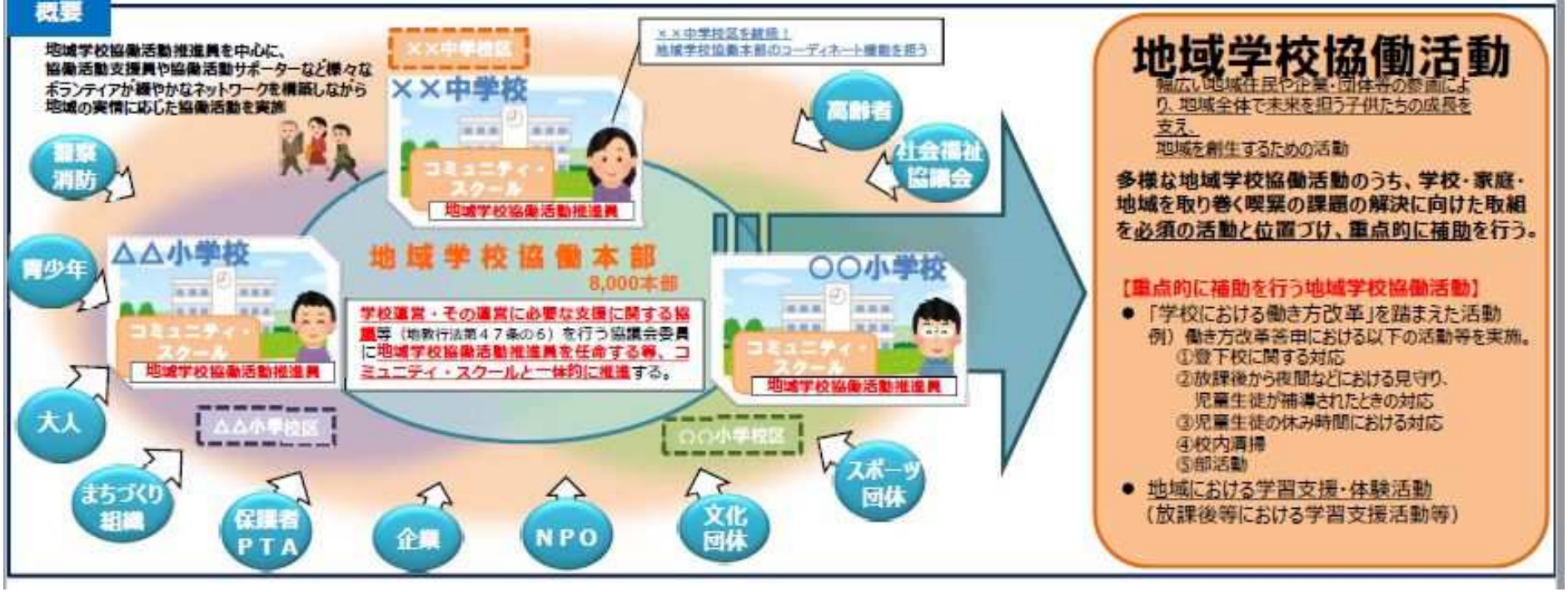
補助要件

①コミュニティ・スクールを導入していること、または導入に向けた具体的な計画があること
②地域学校協働活動推進員を配置すること

補助対象

学校・家庭・地域を取り巻く喫緊の課題の解決に向けた取組に重点化
① 「学校における働き方改革」を踏まえた活動
② 地域における学習支援・体験活動

概要



各学校応援団の実践

新座市立大和田小学校の学校応援団の実践

１　実践のねらい

大和田小学校の学校応援団は、できることを、できる範囲で、できる人が行う形でご支援をいただいている。学校応援コーディネーターを中心にまとめる地域応援団と、学校が募集して調整する保護者応援団の２つの両輪が連携し、地域一体となって児童の学びを深める活動を進めている。

２　事業の計画

・学校安全ボランティア…毎日、児童の登下校等の見守り活動を行う。
・農業支援員…学校教育農園を管理し、児童の野菜栽培活動を支援する。
・学生ボランティア…支援を必要とする児童の生活・学習を支援する。
・花植えボランティア…花植えや水やり等、花壇や鉢植えの整備を行う。
・ミシンサポーター…高学年の家庭科においてミシンの技術指導を行う。
・学校運営協議会委員…年４回、教育活動への助言や学校評価を行う。
・読み聞かせボランティア…保護者・地域が連携して読み聞かせを行う。
・環境整備ボランティア…ウッドバルコニーの塗り替えを行う。【新規】
・運動会片付けボランティア…実施後の片付けを行う。【新規】
・大根販売ボランティア…児童の大根地域販売のサポートを行う。【新規】

３　事業の実際

本校では毎年、学校農園で収穫したジャガイモと大根を販売し、売上金で車いすを購入し、社会福祉協議会へ寄付する活動に取り組んでいる。今年度も、特別支援学級と代表委員会の児童が販売活動を体験し、児童が下校後は教職員が担当した。「児童の活動を参観しながらサポート」「教職員の働き方改革」の観点から学校応援団を募集し、今年度より担当していただいた。コロナ禍以降、人とのつながりが希薄化している中、販売をとおして児童が地域の方と笑顔でやりとりができる貴重な経験を多くの目で見守り、実施することができた。

４　取組の成果と今後の課題

(1) 成果

児童の役割、教職員の役割、学校応援団の役割を分担して、販売活動を実施でき、本校の取組を広めることができたのは大きな成果である。

(2) 課題

ＰＴＡがボランティア制になり、協力者が少なく、固定化している状況が見られるため、地域も含めてさらに募集をしていきたい。

新座市立西堀小学校の学校応援団の実践

１　実践のねらい

学校・保護者・地域が一体となり、児童の健やかな成長を目指した学校の教育活動を推進することで、相互の信頼関係を構築する。学校が主体となり、地域に開かれた信頼される学校づくりを推進するとともに、学校・地域・保護者の教育力を高める。

２　事業の計画

(1) めんどり隊‥‥‥‥‥低学年、特別支援学級の芋掘り等、体験活動の補助
(2) 読み聞かせﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ‥保護者や地域の方による月１回の朝の読み聞かせ
(3) 図書ボランティア‥‥図書室の掲示物の作成、学校図書及び図書室の整理
(4) 西堀見守り隊‥‥‥‥‥子どもたちの登下校見守り、学区内パトロール
(5) こすずめ隊‥‥‥‥‥低学年の懇談会の際に、図書室で子供たちの見守り
(6) 木の子クラブ……工作や自然のものをつかった作品づくりの補助

３　事業の実際

図書ボランティア「さくらんぼ」月に図書室前、室内、児童玄関に季節の掲示していただいている。

４　取組の成果と今後の課題

本校の学校応援団は、あらゆる教育場面に地域の方々が多く参加し、活動が長年に渡って受け継がれてきている。団体の高齢化と世代の交代が課題であるが、今後も各団体やコーディネーターの方と連携をとりながら、よりよい活動につながるよう調整をはかっていきたい。

時代に即した、新たな活動も視野に次年度も応援をいただきたい。

新座市立片山小学校の学校応援団の実践

１　実践のねらい

片山小学校応援団は、家庭を含む地域全体で学校教育を支援する体制づくりを推進することにより、児童の健やかな成長の基盤づくりを進めるとともに、家庭・地域の教育力の向上及び活性化を図ることを趣旨としている。

(1) 学校・家庭・地域ぐるみの元気な活動の推進。
(2) 家庭・地域の教育力の向上と学校への積極的な活用。
(3) 地域の文化や人との交流を通しての児童の健全育成。

図書の点検応援団による蔵書点検

２　事業の計画

(1) 学校応援コーディネーターの選任(PTA 会長)
(2) 学校応援団の募集及び編成

・ベルマーク応援団…ベルマークの仕分け、集計を行う。
・グリーン応援団…植栽や落ち葉掃きを行う。
・読み聞かせ応援団…年３回、朝の時間を使って読み聞かせを行う。
・図書の点検応援団…図書の蔵書点検の手伝いを行う。
・シルバーパトロール隊…毎日、児童の安全確保のために登下校の見守りを行う。
・かけ算九九応援団…2 年生算数において子どもたちが唱えるかけ算九九を確認する。
・昔遊び応援団…1 年生生活科において昔遊びのやり方を子どもたちに教える。

昔遊び応援団による昔遊び指導

かけ算九九応援団による授業支援

３　事業の実際

【かけ算九九応援団】

C4thHome&School にて保護者アンケートを実施し、12 月の期間内において手伝いができる方を募集した。期間中は毎日 5 校時に算数を設定し、来校時刻を分かりやすくした。応援団の皆さんには 2 年生児童が唱えるかけ算九九を間違えていないか、スムーズに言えているか等を視点に確認をしてもらった。教職員が休み時間に確認していた時よりも効率的に実施することができた。

４　取組の成果と今後の課題

(1)　成 果

・学校内の環境整備、授業支援、学習支援、登下校時の安全サポートにより、安心・安全な教育活動への手助けとなっている。

(2)　課 題

・コロナ禍を経て、地域の方との繋がりが再開された。次年度以降はより計画的に実施し、地域との繋がりを大切にしながら子どもたちへの教育に生かしていく。

新座市立第四小学校の学校応援団の実践

１　実践のねらい

本校は、開校当時から地域とともにあり、親しまれてきた学校である。５年間の変遷の中で、地理的には学区の南端に位置しているが、地元の方々の温かい思いに守られている学校である。ＰＴＡ活動にも熱心で、学校応援団活動と連動している。学習支援や児童の安全確保、校内環境整備などを通して、学校の教育活動の充実に貢献していくことをねらいとする。

２　事業の計画

・「チロルの森」運営…　地域の方や専門家の芸術作品を定期的に展示する。
・読み聞かせ活動…　読み聞かせリーフ（団体）及び図書ボランティアの方が月２回程度、朝の時間に読み聞かせを行う。
・図書室整備活動…　図書ボランティアが月１回、図書室の掲示や飾り付け、図書整理等を行う。
・スクールガード安全活動…　毎日、児童の登下校の安全を確保する。
・クリンネス活動…　環境ボランティアの方が除草やエアコンフィルター清掃等を行う。
・花の植え替え作業…環境ボランティアの方が学校の正門正面の円形花壇の植え替えを行う。
・花壇整備…　花植えボランティアの方が正門横の「四小スマイルサポートガーデン」の管理を行う。

・地域探検引率…　学習ボランティアが地域探検の引率を行う。

３　事業の実際

今まであった「チロルの森」の運営、読み聞かせ、スク―ルガード安全活動に地域の花植えボランティアの方が加わり、さらにＰＴＡ活動からシフトした図書ボランティア、環境・ベルマークボランティア、学習ボランティアの学校応援団活動が加わった。

４　取組の成果と今後の課題

〈取組の成果〉

チロルの森では、地域の方が美術館をつくってくださっている。また読み聞かせは、地域の方がよく来てくださっている。花植えボランティアの方も「家の庭だと狭くて」と学校の花壇で喜んで花植えをしてくださっている。学校の教職員の負担軽減と児童の教育活動の充実に寄与してくださり、本当にありがたかった。

〈課題〉

ＰＴＡ活動からボランティア制にしたことで、人手は減ってしまったが、学校応援団としてさらに充実させていきたい。

新座市立八石小学校の学校応援団の実践

１　実践のねらい

学校・家庭・地域の教育力を高め、子どもたちの生きる力をはぐくむことを目的に、日々連携・協力して学校応援団活動に取り組んでいる。実践のねらいは、学校・保護者・地域が、三位一体となり、本校の学校教育目標である「なかよく　かしこく　たくましく」を率先垂範し、笑顔あふれる学校づくりを推進することである。

２　事業の計画

（１）茶道クラブ活動指導　…　４・５・６年のクラブ活動の指導を月３回程度行う。
（２）野寺町会安全パトロール　…　登下校の見守り、校区内のパトロールを行う。
（３）シルバー見守り隊　…　児童の登下校の見守り、校区内のパトロールを行う。
（４）環境美化ボランティア　…　学期に１回校舎内外の清掃活動を行う。プランターの花植え、花壇整備、校庭の除草と学校敷地内の草刈り等、学校環境の美化活動を行う。また、運動会前にシルバーさんを中心に校庭の除草活動を行う。
（５）学習・行事応援団　…　学習支援（手縫い・ミシン学習、校区内探検の見守り）（運動会終了後の片づけ）
（６）読み聞かせボランティア
（７）図書室支援ボランティア
（８）あいさつ運動

３　事業の実際

本校には、読み聞かせボランティア【はちっこおはなし隊】があり、コーディネーターがリーダーを務めている。今年度は年間８回、各クラスにおいて朝の１５分間、読み聞かせや紙芝居等を行い、児童に本の楽しさを味わわせることができた。また、数年ぶりに図書支援ボランティアを募り、児童の読書意欲を喚起するため、季節に応じた図書室の壁面装飾も行っている。

４　取組の成果と今後の課題

学校応援コーディネーターと連携し、読み聞かせや学習支援のボランティアをスクールメールや手紙、個別のお願い等で募集し、実施することができた。図書室支援ボランティアでは、始めの自己紹介で【私の推し〇〇】を紹介し合うことで、場が和み、和気あいあいとした雰囲気で活動を行うことができた。複数回参加いただいた方もおり、楽しい場になっている手ごたえを感じた。

今後も保護者や地域と教職員の連携を一層深め、組織の拡充を図り、コミニュティスクールの核の一つとして絆を深める学校応援団の充実を行っていきたい。

新座市立東北小学校の学校応援団の実践

１　実践のねらい

本校の学校応援団は、学校・家庭・地域が一体となって子供たちの教育を支援するために、家庭・地域の教育力を結集していく組織である。「できる人が できる時に できることを」をモットーに、学校応援コーディネーターが中心となり、よりよい学校づくりのために活動している。

２　事業の計画

(1)　ぴかぴか隊

花壇の整備や除草、樹木の剪定等、校舎外の整備を実施

(2)　おはなしよむよむ

月２回の朝の時間に読み聞かせ、学期１回の学級文庫の整理、年に数回の１単位時間を使ったお話の会（特別読み聞かせ）を実施（第１学年：１２月９日、第２学年：６月２０日）

(3)　学習ボランティア

校外学習（地域見学など）の付き添い、校内音楽会保護者誘導、漢字検定の補助等、児童の学習をサポート

３　事業の実際

○学習ボランティア

２学期の６年生の総合的な学習の時間「私たちの国の歴史文化再発見」において、地域在住の方に華道・茶道・舞踊の講師となっていただき、日本の伝統文化についてご指導をいただいた。

子供たちは、それぞれの体験を通して礼法やしきたりなど日本の伝統を学ぶことができた。また、相手を思いやる心の大切さを学び、現代にまでつながる日本の文化を再発見した。

４　取組の成果と今後の課題

(1)　成果　様々なサポート及び体験活動を通して学校教育が充実し、環境が整備された。

(2)　課題　地域の新たな人財の発掘が困難になってきている。ＰＴＡ及び学校運営協議会との連携を図っていく。

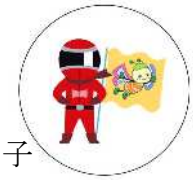
新座市立野火止小学校の学校応援団の実践

１　実践のねらい

「元祖コミュニティ・スクール指定校」として、「地域とともに豊かな学びを創造し、地域の絆を深める学校づくり」の推進をめざして信頼関係の構築を図るとともに、地域の豊かな教育力を学校の教育活動に積極的に取り入れることで、保護者・地域に開かれた学校づくりをめざしている。

２　事業の計画

(1) 見守り隊…毎日の登下校時に児童の安全確保のための見守り活動
(2) 学習支援ボランティア…①新１年生の生活・給食指導の補助
②家庭科のミシン・調理実習の学習補助
③生活科見学・校外学習の際の交通安全補助
(3) 花いっぱいボランティア…毎週火曜日、校内の花壇等の植え替え、手入れ、草刈り等
(4) クラブ活動指導員…和クラブ活動における茶道の指導
(5) 図書ボランティア…月１回、図書室の整備及び掲示物「のびっこの木」の作成、図書室の季節の飾り付け
(6) 読み聞かせボランティア…月１回、朝活動の時間に１０分間の読み聞かせ
(7) 農業体験支援ボランティア…５年生「のびっ子田んぼ」の田植え、稲刈り、脱穀、精米までの学習支援
(8) イベントボランティア…ＰＴＡ行事の運営補助



缶バッジ
＝探検レッド

３　事業の実際

(1) 学習支援ボランティア「見守りレンジャー」の活動の様子

本校の学習・生活面の支援を行っている。毎年４月の１年生の給食指導の補助から始まるのが恒例となっている。令和６年度は町探検や消防署見学、野火止用水見学の付き添い。高学年の裁縫・調理実習の支援を行った。今年度は、課題であった学習支援ボランティアというネーミングに、「見守りレンジャー」と通称を定めた。また、支援内容に応じた缶バッジを製作し、バッジを付けて活動していただいた。バッジを付けたことで、見守りレンジャーとしてのモチベーションが高まり、活動する際に児童との距離も近くなった。コミュニティ・スクールとしての更なる活性化につながっている。

４　取組の成果と今後の課題

(1) 成果…学習支援ボラに通称や証となるバッジを定めたことで、ボランティアの方のモチベーション向上につながった。事前に、該当学年と打合せを行ったことで、円滑な支援を行うことができ、児童の学びにつながった。
(2) 課題…持続可能にするため、各ボランティアとの連絡調整や人員募集、無理のない活動について工夫していきたい。

新座市立野寺小学校の学校応援団の実践

１　実践のねらい

本校は、学校環境整備への協力、学習活動の補助、児童の安全確保等への協力を通して、コミュニティ・スクールとして保護者・地域・学校が連携して教育活動を一層充実し、児童の育成を図っていくことをねらいとしている。今年度は応援団の参加者を広げるよう取り組みや呼びかけを工夫した。

２　事業の計画

行事（運動会、除草、体力テスト等）補助　　ミシン指導補助
図書室の飾りつけ・読み聞かせ　　学期末の大掃除補助・窓清掃
校外学習における安全確認　　農業学習支援　　クラブ・委員会補助

３　事業の実際

クラブ・委員会活動応援団では、理科の実験や手芸等で地域の方にもご協力いただいた。

また、運動会前には除草作業を行い、保護者・地域の方と一緒に校庭をきれいにしたり、学期末大掃除では手の届かない場所や窓掃除等を手伝っていただいたりした。さらに、体力テストや２年生のかけ算九九暗唱など、学習面でも応援団の方にサポートしていただいた。

４　取組の成果と今後の課題

(1)　成果

・グーグルフォームで参加者を募ったことで、広く周知ができ、「初めてでも参加しやすかった」との声が聞かれた。
・クラブや除草作業・ミシン補助などでは、保護者の他に今まで学校に来る機会のなかった地域の方が参加してくださり、学校への関心をもっていただくよい機会となった。

(2) 課題

・協力していただける方が決まってきているので、フォームを活用したり学年を絞って周知したり、学校応援コーディネーターにお願いしたりしながら、新たな参加者を増やしていきたい。
・先生方にももっと応援団を活用してもらえるように周知しつつ、どんな活動で補助や手伝いが必要かを集約する。

新座市立池田小学校の学校応援団の実践

１　実践のねらい

○学校教育目標「健康で　よく学ぶ　心のゆたかな子」の具現化を図る
○コミュニティ･スクール推進のための取組として、地域を知り、関わり、地域の人材･環境を学校に取り込む

２　事業の計画

(1)花いっぱいチーム
・年間を通じて花に囲まれた学校環境の整備。PTA を中心とした、花の植栽や休日の水やり等も含めた管理
(2)学校行事応援チーム
・運動会の前日準備や片付けなどのお手伝い
・芸術鑑賞会、研究発表会、持久走記録会の交通整理や運営補助
(3)学習応援チーム
・読み語りなど、年間を通して継続的に行う支援
・家庭科のミシン授業補助
・図書室の掲示物作成や図書整理
(4)子供見守り応援チーム
・下校時や放課後等の地域の見守りサポート
・全家庭による見守りパトロール

３　事業の実際

・学習応援チームによる図書室の掲示作成
　図書室の掲示物が古くなってきたので、学校応援団の方々に協力をしていただき新しいものを作成した。
　時間の都合がつく方には、本に保護フィルムを貼る作業などもお手伝いいただいた。

４　取組の成果と今後の課題

(1)成果
　少人数で学校図書館環境の整備の推進など、保護者・地域住民それぞれの立場から学校にご尽力いただけた。
(2)課題
　少人数精鋭で臨んだが、参加者が一部で偏りができている。学校行事等への早めの情報提供に心がけたい。

新座市立新堀小学校の学校応援団の実践

１　実践のねらい

児童の健やかな成長を目指して、学校・保護者・地域が一体となり、地域の教育力を学校の支援につなげ、学校応援団を組織している。三者の連携を深めることをとおして学校教育の充実を推進するとともに、学校・保護者・地域それぞれの教育力を高めていくことをねらいとする。

２　事業の計画

(1) 学校行事保護者応援団…日常の安全見守り・サポート
(2) 見守り応援団（わんわんパトロール含）…登下校中の安全の見守り
(3) 学校運営協議会…教育活動への意見具申、学校運営の評価、校内巡視
(4) 楽農会…学校教育農園の維持、管理、農業体験活動の補助
(5) 読み聞かせ…月１回、朝の時間に読み聞かせ
(6) エレガンスの会…月１回のハンドマッサージ、児童への声掛け
(7) １年生スマイルサポーター…入学期の清掃・給食補助

３　事業の実際

(4) １年生スマイルサポーター

１年生１学期、給食開始日から３週間、地域・保護者に呼びかけサポート活動に取り組んでいる。
　給食について
１週目・・・サポーターメインで給食配膳
２週目・・・１年生に教えながら給食配膳
３週目・・・１年生メインで給食配膳
　清掃について
ほうき使い方やぞうきんの絞り方、ふき方指導
　少しずつできることが増え、３週目には自信をもって自分たちで給食、清掃が行えるようになった。
１年生は５月にはお客様として給食にお招きして感謝の会を企画・実行することができた。

４　取組の成果と今後の課題

(1) 成果
　１年生の接続時期に担任の指導だけでなく、地域・保護者のサポートや温かな声掛けにより、安心して生活に慣れるようになった。
(2) 課題
　応援団の募集方法をより工夫して多くの方に参加していただく。

新座市立東野小学校の学校応援団の実践

１　実践のねらい

◎「地域とともにある学校づくり」を目指す
・学校、家庭、地域が一体となり、地域ぐるみで子供を育てる体制づくり
・地域の多様な経験や技術を持つ人たちとの連携・協働（外部人材の活用）
・子供たちの安心、安全な環境の確保
・できる人が、できる事を、できる時に、できる範囲で

２　事業の計画

・清掃ボランティア…大掃除に合わせて掃除の手伝い（窓拭き）
・東野ガーデナー…体育館前花壇、あおぞら農園の管理、支援
・ぱたぽん…本の読み聞かせと通信の発行
・図書ボランティア…図書室の壁面装飾制作、本の修理や書架の整理
・農業支援員…１～３年生・あおぞら学級における農園活動の支援
・漢字検定実行委員…全学年希望者に向けての漢字検定の運営補助
・父親の会…「ミニ四駆教室」、「逃走中」等児童が楽しめる行事の実施
・シルバー見守り隊、スクールガードリーダー…児童の登下校の見守り活動

３　事業の実際

東野ガーデナーさんがあおぞら学級を中心に様々な企画を行っている。

「ヒマワリプロジェクト」として、学校の花壇にヒマワリを植え、その種を収穫して、大宮公園小動物園に送る活動をしている。昨年度は種が収穫できなかったたが、今年度は送り先の大宮公園小動物園のインスタグラムで東野小の取組が紹介された。また、東野ガーデナーさんの支援のもとで、「押し花アート」の作成も行い、個性豊かな美しい作品を作成することができた。

４　取組の成果と今後の課題

○学校応援コーディネーターを中心に、各応援団代表によるリーダーシップのもとコロナ禍以前のような活気ある活動が展開できた。
○各団体の取組により、教職員にとっても負担軽減につなげることができた。
●応援団の世代交代等による人員不足が懸念されるため、活動内容の周知を積極的に行い人員確保に努める。

新座市立栄小学校の学校応援団の実践

１　実践のねらい

本校では、学校教育目標である「自分が好き、なかまが好き、栄が好き」のもと、教育課程を広く保護者や地域に開き、児童の健全育成を目指している。児童が地域の大人と関わり、認められる経験をすることで、自己肯定感を育み、「自分が好き、なかまが好き、栄が好き」、そして将来の地域社会・ふるさとを担っていける人材が育てられると考えている。

２　事業の計画

・おはなし隊…月に１回または２回、木曜日の朝の時間に読み聞かせを行う。
　季節ごとに図書室の装飾も行う。
・学習支援…家庭科（手縫い・ミシン）の補助をはじめ、生活科の昔遊び、
　算数の個別指導など様々な教科の補助をする。
・えのころぐさ…植栽計画及び花壇の世話・芝生の手入れをする。
・見守り隊…登下校時の安全パトロールを行う。
・環境美化…芝生の除草、外トイレの掃除をする。

３　事業の実際

２月６日の３～４校時目に、地域の方々と昔遊びを行った。子供たちは「たのしみ！」「はやくやりたいな！！」と、始まる前からわくわく・どきどきであった。

初めにそれぞれの昔遊びについての説明、その後ブースに分かれて遊んだ。

会の終わりに「待ってるよ」などと温かい声もかけていただけた。

４　取組の成果と今後の課題

（１）成果

コロナ禍を経て、下火になっていた各応援団の活動がおおむね戻って来た。応援団と校内との連携も滞りなく進められている。見守り隊では、朝の声掛け活動などで多くの地域の力を借りることができた。

（２）課題

今後も学校応援団への参加者を広く募るため、Ｃ４ｔｈ等でＰＲしていく。

新座市立石神小学校の学校応援団の実践

１　実践のねらい

学校教育目標を具現化するにあたり、ＰＴＡを核とした学校応援団を組織し、活動にあたっている。保護者や家庭・地域と連携した教育活動を行い、児童の健やかな成長に寄与することをねらいとし実践している。

２　事業の計画

・おはなしこんぺいとう…月１回、朝読書の時間に読み聞かせを行う。
・てしごとこんぺいとう…定期的に図書室内の装飾や本の修理、蔵書点検の補助を行う。また、図書イベントで使用するしおりを作成する。
・どろんこの会…学校前の「ふれあいの路」を整備する。特別支援学級の児童や委員会児童と植栽活動を行う。
・おやじの会……運動会の保護者誘導やテント等の片付けを行う。
・防犯パトロール…地域の方が中心となり、登下校の見守りを行う。

３　事業の実際

「おはなしこんぺいとう」の活動の様子

毎月第１木曜日の朝に各教室で読み聞かせを行っている。読み聞かせの時間は、教員は教室を離れ、教員がいないことで、ボランティアの方は緊張せずに読み聞かせをすることができ、児童からも子供らしい反応が見られる。ボランティアと児童だけの楽しい時間を過ごしている。

４　取組の成果と今後の課題

（１）成果

・今後も継続できる活動となるように工夫しながら実践することができた。
・お母さん方だけでなく、お父さんやおじいさんなど、たくさんの方に読み聞かせに来ていただいた。

（２）課題

・各応援団の参加者が増えるよう、募集の方法を工夫し、手立てを考え実践する必要がある。

新座市立新開小学校の学校応援団の実践

１　実践のねらい

学校･家庭･地域が一体となって子供たちの育成と学校の活性化を図り、家庭や地域の教育力の向上を目指すとともに、開かれた学校づくりを推進している。本校の教育目標は「かしこい子、心ゆたかな子、たくましい子」である。実践のねらいは子どもも保護者も地域も教職員もウェルビーイングを実現できる学校づくりにある。

２　事業の計画

（１）読み聞かせ「おはなしひろば」…月１回、朝の時間帯での読み聞かせ
（２）生活補佐員…新入学生の給食配膳の補助（例年４月～５月初旬まで）
（３）花植えボランティア…児童玄関前にて季節ごとの花の植え替え作業
（４）全校遠足見守りボランティア･･･地域の公園を巡る全校遠足で、安全の見守り
（５）飾り作成・設置ボランティア…七夕や節句における飾りの作成及び設置
（６）ミシン学習ボランティア…家庭科ミシン学習の支援及び補助
（７）児童の安全見守りボランティア…登下校時における児童の安全見守り活動
（８）授業支援ボランティア…授業において配慮が必要な児童への支援
（９）図書室蔵書ボランティア…蔵書点検、図書の整頓
（10）１０歳の集いボランティア…４・５年生対象に集会と記念品作成

３　事業の実際

《花植えボランティア
「ガーデンプランナーズ」》

季節や行事に合わせて、各学期１回程度、花の植え替え、花壇の除草作業等が行われている。構成人数は１５名で、各回の活動人数は１０名前後である。

今年度も、児童玄関前の花壇やプランターに色とりどりの花が植えられ、運動会や卒業式等各種学校行事に華を添えた。

ボランティアの皆様の気持ちを引継ぎ、植えられた花への水やりは生活委員会の児童が行っている。

４　取組の成果と今後の課題

（１）取組の成果
・学校応援団の活動を通じて、児童・教員・保護者・地域の方々の交流を図ることができた。
・児童の安全の確保や学びの環境を整えていただくことで、学習意欲の向上、豊かな心の育成、大人と絆の深まり等、良い影響をもたらした。

（２）今後の課題
・参加者の参加が減少傾向にあるので募集方法等を工夫していく。

新座市立栗原小学校の学校応援団の実践

１　実践のねらい

本校では、「やりたい時にやりたいことから、できることをできる時に」を合い言葉に、各応援団の枠にとらわれず広く様々な活動に参加してもらえるように進めてきた。「開かれた学校づくり」実現のため、学校・家庭・地域の連携を強化することをねらいとして、実践に取り組んだ。

２　事業の計画

(1) 学習・行事応援団…学習支援（ミシン学習補助・かけ算九九検定）
学校行事の支援（運動会の片付け補助、持久走大会の安全見守り、学区探検などの引率補助）
１年生の給食・清掃補助

(2) 学校図書館応援団…年６回程度、図書室･図書室前廊下壁面の装飾、児童の絵の貼り替え（階段）　蔵書点検補助

(3) 読み聞かせ応援団…月１回、全学級において読み聞かせの実施、読み聞かせ通信発行

(4) 園芸応援団…飼育園芸委員会の児童と共にプランターの花植え
花壇整備を中心に学校環境の美化活動、学校農園の手伝い

(5) 地域応援団…児童の安全確保のための登下校見守り活動

(6) 広報応援団…広報紙の発行

(7) 学校運営協議会…年５回、教育活動を参観し意見具申や学校運営の評価

３　事業の実際

学習・行事応援団による「九九検定」の様子

１２月中旬の４日間（各クラス２回）、業間休みに２年生の九九検定を行った。学校情報配信アプリを活用したり、学校だよりや学年だよりに掲載したりして、広く周知し募集した。参加した保護者からは、「子どもの学校での様子を見られてよかった。」「子どもたちができるようになり、笑顔が見られてよかった。」と好評だった。個別に丁寧に声掛けをしてくれるため、子どもたちの励みになった。

４　取組の成果と今後の課題

(1) 成果

学校情報配信アプリや Forms を活用し、募集から実施にいたるまでの、進め方や調整の仕方を整えることができ、参加しやすい環境を整えることができた。

(2) 課題

学校応援団の活動の様子をホームページや学校情報配信アプリ等でＰＲし、さらに新規参加者を増やしたい。

新座市立陣屋小学校の学校応援団の実践

１　実践のねらい

「地域や保護者と共にあるコミュニティ・スクール陣屋」の推進のために、家庭を含む地域全体で学校教育を支援する体制を構築し、教職員が子供たちと向き合う時間を確保すること、家庭・地域の教育力に活性化を図ること及び教育環境に潤いを持たせることをねらいとしている。

２　事業の計画

◇読み聞かせボランティア…「おはなしびっくり箱」として、毎月１回、各教室で読み聞かせを行う。(月１回　木曜日　１３：００～１３：１０)

◇図書掲示ボランティア…季節に合わせて図書室の壁などを装飾する。

◇クラブ活動支援ボランティア…茶道クラブ、和太鼓クラブそれぞれに外部指導者が関わり、専門的な指導や助言を行う。

◇授業支援ボランティア…ミシン操作の補助を行う。

◇そのほか…親子清掃、スモールガーデン花植え等で児童とともに活動を行う。

３　事業の実際

◇スモールガーデン花植え

学校中庭にあるスモールガーデンの整備、花植えを行っている。（６月・１１月）９時ごろにスタートし、これまでの花や雑草を取り除き、腐葉土などを入れる。その後、新しい花苗を花壇内に配置する。業間休みになると、環境美化委員の児童も集合し、一緒に花を植える活動を行う。活動後には、授業の様子なども自由に見ていただいている。

４　取組の成果と今後の課題

（１）　成果

・本年度より、PTA 活動をスリム化しほとんどの活動を学校応援団に移行した。例年通りの活動を行うことができ、円滑に移行できたといえる。

・教員以外の大人と関わることにより、子供たちの学びが、より豊かに、充実したものになる。

・教職員以外の方から、様々なご意見を伺うことができる。

（２）　課題

・協力してくださる方が固定化されてきている。ラインのオープンチャットをさらに活用して、メンバーを増やしたい。

新座市立新座小学校の学校応援団の実践

１　実践のねらい

「できる人ができる時にできる事」を合言葉に、多くの方に学習支援、学校農園やギャラリー管理運営、図書室支援などの実践に取り組んでもらい、開かれた学校づくりを実践している。

２　事業の計画

（１）　学習支援

① 家庭科支援…５・６年生ミシンの操作支援及び、点検

② 学校農園支援…畑での野菜作り、校内の田んぼでの田植えから脱穀、しめ縄作り等

③ 読み聞かせ…月１回全学級において読み聞かせ実施

④ 授業支援…町探検やザリガニ釣りなどの校外での学習補助

⑤ 日本語支援…日本語を母語としない児童への教科書読み聞かせ

（２）　学校生活支援

① １年生給食補助…入学当初の１年生の給食指導補助

② 図書室支援…月１回程度　本の整理及び補修、図書室の飾り作成

（３）　環境支援

① 植栽活動…学校花壇の整備

② 学校ギャラリー管理運営…児童昇降口の装飾

③ 学校施設清掃…学校清掃、草取り等

３　事業の実際

学校農業支援では、生活科や総合的な学習の時間に行われる野菜作り、米作りの支援を行っている。農業の専門的な知識を提供していただいたり、田んぼや畑の整地、草取り、水やり等、児童が学習時間内だけではできないことを補っていただいたりしている。

とくに、５年生の米作りでは、田植えから稲刈り、脱穀、しめ縄づくりまで年間を通して支援をしていただいている。

４　取組の成果と今後の課題

授業支援などをしていただくことで、子供たちが安心して学習に取り組めた。学校環境美化や授業準備を補助していただき教職員の負担軽減につながった。

一方、共働き家庭の増加や、高齢化により応援団の参加者が減少しているので、学校応援団活動を広めていき、参加者を増やしたい。

新座市立新座中学校の学校応援団の実践

１　実践のねらい

県内第一号のコミュニティ･スクール中学校として精力的に取り組んでいる本校は、学校教育目標「強く 明るく 考える」と経営方針「地域が元気（地域の誇り、地域の財産、コミュニティ･スクール）」を推進しており、学校の活性化と教育力の向上を目指して、保護者と地域がより一層一体となって学校を支援するさまざまな活動を実施している。

２　事業の計画

時　期	事　業　内　容
年　間	校庭・中庭除草、読み聞かせ、部活動ボランティア指導、校舎内外見回り、農業支援員、学校運営協議会、
随　時	新座グリーンキャンペーン（人工芝設置プロジェクト）

３　事業の実際

【新座グリーンキャンペーンの様子】

地元企業と奉仕委員会の合同事業として「人工芝設置プロジェクト」を進めて３年目となる。学校応援団による除草作業後の校地有効活用を目的とし、除草作業箇所の縮小、授業や部活動におけるトレーニング等の使用、生徒の外遊びや憩いの場所となっている。

４　取組の成果と今後の課題

（1）成果

学校の取組についてＰＴＡを通して調整いただき、協力企業が見つかり、この作業体験を通して地元企業と交流する機会を得た。「自分たちにとって心地よい居場所づくりを生徒自身が行い、継続して維持・管理する姿勢を学ぶ」この取組を継続していくことで保護者と地域、生徒の手による学校施設の充実を推進している。

（2）課題

人工芝設置前に除草作業と整地、樹木の伐採等が必要なため、諸活動との日程調整や定期的なメンテナンスが必要である。

新座市立第二中学校の学校応援団の実践

１　実践のねらい

家庭・地域と協力して、生徒の健やかな育成を図り、生き生きとした元気な学校づくりを目指す。

（１）学校・家庭・地域が一体となった教育活動を展開することにより、活力のある学校づくりを推進する。

（２）地域にある有益な教育力を学校教育に活用する。

２　事業の計画

・クラブ活動支援（Ｒ６は卓球部及び吹奏楽部）
→年間を通じて部活動における専門的な実技指導を行う。

・学習支援（ピアサポーター）
→臨床心理系学部の大学生が、校内教育支援センター（スマートスタディールーム：通称スマスタ）の生徒等への学習支援を行う。

・学校行事支援
→校外学習における引率教員のサポートと生徒の活動支援を行う。

・読み聞かせ「おはなしの雫」
→月３回（学年毎）、金曜日の朝読書の時間に読み聞かせを行う。

・環境美化→６・９・２月の花植えと年間を通して花壇の手入れを行う。

３　事業の実際

３年間続く長寿命化工事に伴って校地内が制限されているが、丁寧に手入れされた花壇の花々が学校に季節毎の彩りを与えてくれている。今年度より開室した校内教育支援センター（スマスタ）では、臨床心理系学部の大学生ピアサポーターが、生徒と日常会話を通して関わりを持ちながら学習支援を行ったり、学校行事支援の方が校外学習のサポートとして生徒の活動を支援したりしている。

４　取組の成果と今後の課題

（１）成果

整備された花壇の花々が生徒や保護者の心に潤いと季節感を与えてくれた。

大学生との関わりによって多様な人間関係に触れ、生徒が自分の進路を考える機会が増えてキャリア教育につながった。

（２）課題

学校応援団の人員確保のための周知方法の工夫、学校に多種多様な方を招く際の信頼性の確保や個人情報取り扱いに関する配慮事項の確認の徹底が必要である。

新座市立第三中学校の学校応援団の実践

１　実践のねらい

「生徒一人一人の力が伸びる学校」の実現をめざして信頼関係の構築を図るとともに、アイデアと工夫で地域の豊かな教育力を学校の教育活動に積極的に取り入れ、保護者・地域に開かれた学校づくりをめざしている。

２　事業の計画

（１）朝の声かけボランティア…年４回活動し、８：００～８：３０正門～サンロードであいさつ運動を行う。
（２）グリーンボランティア…年２回、校内外の花壇・植栽等の植え替え、手入れ、草取り等を行う。環境委員会、ＰＴＡボランティアと連携。
（３）部活動ボランティア指導員…部活動の際、専門的指導を行う。
（４）学校行事ボランティア…体育祭での駐車場、交通整理等をサポートする。
（５）読み聞かせボランティア…月２回～３回、朝読書の時間に１０分間の読み聞かせを行う。
（６）バザーボランティア…１０月の三中バザーの準備、運営、片付けを行う。

３　事業の実際

「読み聞かせボランティア」の活動の様子

毎月、学年ごと又は二学年ごとに各クラスで読み聞かせを行っている。
各クラスに１名ずつ入り読み聞かせをしている。学年共通で同じ本の時と、読み手が自由に選んで読み聞かせている時とある。どちらにしても、子どもたちは真剣に聞いている。
子どもたちの豊かな心を育むとともに、地域の方々と交流する貴重な機会となっている。また、卒業後も地域に貢献しようとする豊かな心が醸成されている。

４　取組の成果と今後の課題

(1)成果…教育環境の充実につながり、また学校と保護者・地域との絆が深まった。
(2)課題…ボランティアによっては、高齢化や固定化しているため、人員募集をしていく必要がある。

新座市立第四中学校の学校応援団の実践

１　実践のねらい

○本校の学校教育目標である『夢に向かって、人生の基礎を築き、大きな翼を育む学校』の具現化のため、学校応援団を組織し、地域で子どもをはぐくむ魅力ある学校づくりを推進する。

○学校応援団は、学校環境整備への協力・支援、生徒の安全確保への協力・支援などをとおして生き生きと学ぶ生徒の育成と、学校教育活動の一層の充実に資することを目的とする。

２　事業の計画

(1) 学校応援団の活動（環境整備、読み聞かせ　等）

(2) 学校応援団の活動の実践

(3) 今年度の反省と次年度の活動への検討

３　事業の実際

本校には樹木の伐採や除草を行ってくれる環境整備の学校応援団の方々がいる。今年度は協力してくださる方をさらに増やすために、広く地域や保護者に呼びかけをし、６月と１０月に「草バスターズ」と称して、除草作業を行った。事前にチラシの配布や、正門や地域の掲示板への掲示、HP の掲載等で周知したことで、当日は大勢の方々に協力していただくことができた。２回目では、生徒も参加をしたことで、保護者や地域の皆様との交流の場にもなり、学校・地域・家庭のつながりを深めることができた。

改めて地域の皆様に感謝するとともに、その力の大きさに驚いた。今後も地域とともにある学校として、地域・保護者とのつながりを大切にしていきたい。

草バスターズ２の様子

４　取組の成果と今後の課題

(1) 成果

今年度２回実施した草バスターズは、１回目は教職員と地域、２回目はそれに生徒、保護者を加えて実施した。生徒が共に活動することにより、そこには交流の場と地域や保護者の方々の笑顔が生まれていた。生徒たちは、自分たちの活動を支えてくださっている地域、保護者の方々の存在を実感する場として、地域・保護者の方々にとっては生徒から感謝の言葉を伝えられることで「やりがい」を感じることができる場となったのではないかと思っている。学校応援団活動を持続していくために欠かせない要素であると感じた。

毎月の「クローバーの会」による読み聞かせは、１学年ごと実施し、生徒は興味をもって読み聞かせを聞き、本に込められたメッセージを感じ取ることができた。生徒達は心の面でも、たくさんの方々から見守られていることを実感できる貴重な機会となっている。

(2) 課題

学校応援団の活動については、学校だよりや HP 等に掲載することで、参加者の拡充を図っているが、現状に大きな変化はない。今年度の草バスターズの取組のように、地域と連携した組織づくりを進めていくためにも、他の活動についても活動を広め、拡大できるように努めていく。

新座市立第五中学校の学校応援団の実践

１　実践のねらい

本校の学校教育目標は「友愛・向上・自主自律」であり、この目標の具現化や開かれた学校づくりの推進のため、学校での教育活動を支援する保護者や地域住民によるボランティア活動組織として「第五中学校学校応援団」がつくられている。

実践の主たるねらいは、以下のとおりである。

（１）家庭・地域の教育力の向上と学校教育への積極的な活用
（２）学校・家庭・地域の活力を束ねる活動の推進
（３）地域の人々との交流を通した生徒の健全育成である

２　事業の計画

（１）学校運営協議会
（２）緑化活動ボランティア
（３）校外パトロール
（４）体育祭パトロール
（５）朝あいさつ活動
（６）部活動ボランティア(卓球)
（７）部活動ボランティア(剣道)
（８）おはなしの泉（読み聞かせ）
（９）五中アフターチャレンジ教室

３　事業の実際

【五中アフターチャレンジ教室】の活動の様子

今年度１、２学期に地域の塾の協力による学習支援活動として「五中アフターチャレンジ教室」を各学年で合計４回行った。(最大７つの塾からご協力をいただいた）地域の塾の皆様には、地域全体の学力向上は塾の使命の一つだとおっしゃってくださり、無料でご協力をいただいた。

４　取組の成果と今後の課題

（１）取組の成果

地域の塾と連携することで、地域全体で生徒の学力向上を推進することができた。各塾独自の工夫に触れることができ、学習のコツや学ぶことの楽しさに改めて知ることができた生徒も多く、参加した生徒にとって大変有意義な時間となった。

（２）今後の課題

学力でのレベル分けや、塾ごとに学習の進め方に相違があったこともあったため、塾間での学習の仕方や進度についての打ち合わせの時間確保の必要性が課題としてあげられる。

新座市立第六中学校の学校応援団の実践

１　実践のねらい

本校の教育目標は、「自主・責任・明朗」である。学校応援団は、学校環境整備への協力・支援、生徒の安全確保への協力・支援などをとおして生き生きと学ぶ生徒の育成と、学校教育活動の一層の充実、さらに登下校等の安全確保に資することを目的とする。

２　事業の計画

・声かけボランティア「朝のコミュニケーション運動」
　校区内７か所で年４日間、あいさつ運動を展開する。
・花壇ボランティア
　年２回生徒会（美化・緑化委員）とともに、花壇の花植え活動を行う。
・学校行事支援ボランティア
　行事を中心に、受付、駐輪場整理など、運営面での支援を行う。
・読み聞かせボランティア
　毎学期、朝の業前の時間に各クラスにおいて読み聞かせを行う。
・学校運営協議会
　授業参観等をとおして生徒の実態を把握し、教育活動への助言を行う。
　（年６回の実施）

３　事業の実際

「花壇ボランティア」の活動の様子

地域や元ＰＴＡの方にご協力いただき、コロナ禍において活動を停止していた「花壇ボランティア」の活動を、昨年度から再開した。

学校応援団の方には、資材の購入や下準備もやっていただいている。「美化・緑化委員会」の生徒との一緒になって花植え活動等を行ったり、特別支援学級の生徒と野菜作りを行ったりしている。

４　取組の成果と今後の課題

（１）成果

専門性を持った地域人材の活用により、生徒の学習活動の質を高めることができた。また、地域の方とのかかわりを持つことで、社会性を身に付けるとともに、地域への理解・愛着が深まった。

（２）課題

コロナ禍において、活動が大きく縮小している。学校応援団について地域に周知し、活動に携わる方を増やしてくことが必要である。

令和６年度新座市教育委員会学校支援地域本部
発行日　　令和７年３月